

大学・国立研究開発法人の外国企業との連携について

－ 適正なアプローチに基づく連携の促進 －

令和元年 6 月 1 9 日

総合科学技術・イノベーション会議

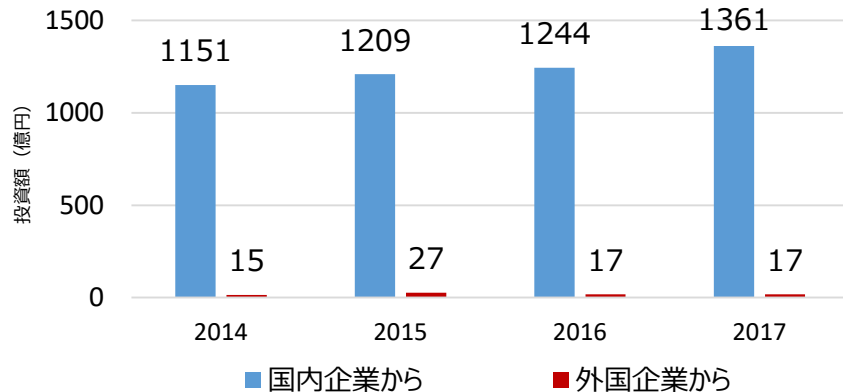


大学・国立研究開発法人の外国企業との連携の現状

- ・外国企業と日本の大学・国研等の連携実績は少なく、資金受け入れ、研究力強化の面で課題となっている。
- ・外国企業から見て、日本の大学・国研等には魅力的な研究シーズがあるものの、連携のための取組に不足を感じる人が多い。
- ・日本の大学・国研等では、意図せざる技術流出への不安や、研究成果を外国に出してよいのかとの疑問から、連携の方策に確信が持てない、体制が整わないなどの理由で連携が進まない状況。

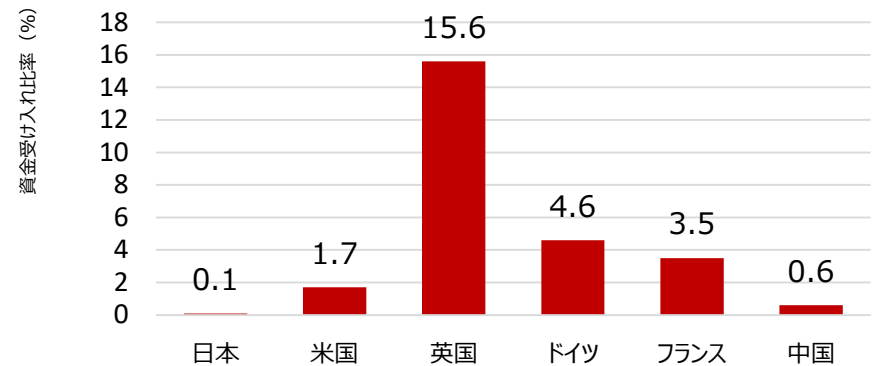
➡ **適正なアプローチを明確にし、連携を促進するガイドラインが必要**

企業から大学・国研等への投資額



出典：総務省「科学技術研究調査」を基に内閣府で作成

外国から大学への資金受け入れ比率の比較



出典：経済産業省「我が国の産業支援に関する研究開発活動の動向と主要指標」調査データ（第173版）（平成30年2月）を基に内閣府で作成

<外国企業からみた日本の大学・国研等>

積極性	・外国企業との連携に不慣れな大学は躊躇する傾向
連携構築	・産学官連携につながる組織的な取組が不足
専門人材	・連携組織に専門人材が少ない
契約	・日本固有の契約条件を要求される
成果展開	・企業ニーズの汲み取る意欲が不十分

<日本の大学・国研等の現状>

・外国企業との連携方策に確信が持てず、リスクばかり考えてしまう
・研究者の個人的なつながりから共同研究が始まる場合が多い
・外国企業との連携で活躍する専門人材が不足している
・国内・外国企業いずれも研究契約条件は同一
・研究進捗管理、秘密情報管理など研究者任せになることが多い

出典：内閣府「戦略的イノベーション創造プログラムをはじめとする研究開発プロジェクトにおける外国企業との連携に関する調査」を基に内閣府で作成

ガイドライン（案）の概要

I. 基本的な考え方

- グローバルな競争を勝ち抜くためには、**国内外を問わず**一流の企業・研究機関との連携強化が不可欠
- 一方、「意図せざる技術流出」を防ぐため、関係**法令遵守**、**リスクマネジメント**は高いレベルで必要
- 各機関の**活動目的に則した**外国企業との連携方針や、連携を開拓、維持、発展させる**組織的な仕組みづくり**が必要（情報発信強化、連携相手の探索機能強化、専門人材）
- **win-win**の関係を目指した連携の構築

①適正なアプローチ ②外国企業との連携促進 ③連携機能強化

II. 法令・規則等

- 外国企業との連携において**遵守すべき法令・規則等**
 - 安全保障貿易管理
 - 不正競争防止法（営業秘密の保護）
 - その他の法令・規則

III. リスクマネジメント

- 法令遵守に加えた**リスクマネジメント体制の構築**
 - 産学官連携活動の推進に伴うリスクマネジメント
 - 機微技術管理の国際動向

IV. 実務的な留意事項

- **戦略・体制整備とプロセスの管理**
 - 連携戦略・体制の整備
 - 連携プロセスの管理
 - モニタリング・フォローアップ

V. 外国企業との連携の具体的な取組事例

- **好事例の横展開**を通じた積極的な取組の促進
 - 外国企業との積極的に進めている国内の大学・国研等の取組事例
 - 海外の大学・研究機関の取組事例